

GREEN RANGER NEWS

2025年9月号 Vol.373



NPO 法人蔵王のブナと水を守る会事務局
〒989-0231
宮城県白石市福岡蔵本字滝下101番地1
URL <http://www.zao.org/>
e-mail mail@zao.org

● 8月10日(日) 自然観察

朝からあいにくの雨で今日の自然観察はできそうになく、参加者も少ないので自動カメラの設置と自然観察を兼ねて最初は「彩遊の森」の水場に向かい、その後「アナグマの森」と「リスの森」を歩いた。「彩遊の森」で最初に目をひいたのはタケニグサだった。この名の由来は竹と煮ると竹が柔らかくなるからとか、茎が中空で竹に似ているからとからしい。次に目をひいたのは青紫色のキキョウであった。既にしぼんでしまった花もあるが、周囲が緑の中に咲くこの花は目立つ。”キキョウ1”は白い雌しべの周りを雄しべが囲んでいるが、この雄しべの葯は空になっている為、自家受粉はされないらしい。受粉は蜂などにより他の花の花粉で行われるとのこと、”キキョウ2”がその様子と思われる。(花卉の中に蜂のような虫が見える。) アナグマの森ではクマが齧ったと思われる枯れ木が何本も転がっていた。アナグマの巣穴に設置した自動カメラにはタヌキの親子が写っており、大きくなった子どもが母親の乳を必死に飲んでいる様子が可愛い。リスの森-針広混交林では久しぶりにリスが登場し、彩遊の森-水場では春に親離れしたと思われるクマが歩いている様子が写っている。

参加者：3名



タケニグサ:彩遊の森



キキョウ-1:彩遊の森



キキョウ-2:彩遊の森



オトコエシ:彩遊の森



オミナエシ:彩遊の森



クマ:アナグマの森



タヌキの親子:アナグマの森



リス:リスの森



クマ:水場

●8月24日(日) 荒浜海岸植林地

自宅から荒浜海岸へ行く途中、仙台空港付近の道路の温度計が 35℃の表示。連日の猛暑に続き、今日も危険な暑さになりそうで身構えてしまいました。

今日は、東邦運輸倉庫さんから3名、セキスイハイム工業さんから1名の参加があり、暑い時季の若手の応援は本当に心強い。4名の皆さん、有難うございました！

前半は、7月13日に宮城県農業高等学校科学部の皆さんが散布してくれた、植物活性剤「桜色活力剤」を再度散布しました。散布後に、活力剤の高温・乾燥・塩害に対する耐性を高める効果が発揮されたかどうか、散布した木と未散布の木とを比較。結果は次の通りでした。

ケヤキ……………散布:⑨新葉あり ⑩変化無し	未散布:新葉無し
コナラ……………散布:新葉多数あり	未散布:新葉無し
カスミザクラ……散布:変化無し	未散布:変化無し
アカシデ…………散布:変化無し(元気)	未散布:変化無し(元気)
ウワミズザクラ…散布:変化無し	未散布:②変化無し ④枯死
アベマキ…………散布:下の方に新葉あり	未散布:新葉無し(元気)
ミズキ……………散布:新葉あり	未散布:①新葉なし ②新葉あり
イタヤカエデ……散布:変化無し	未散布:変化無し
ブナ……………散布:変化無し(今年 40cm 伸びている)	未散布は無し
イヌザクラ………散布:変化無し	未散布は無し

(総評)

生育が良いのは、アベマキ、コナラ、イヌシデ(未散布)で、ケヤキが続く。

活力剤の効果については、ケヤキ、コナラ、アベマキに新葉が出ていたことから(本来はこの
時季に新葉は出ない)、効果があった可能性がある。しかし、ミズキは未散布の木からも新葉
が出ていたのと、肥大については記録していないため、確定はできない。
今後どのような変化が見られるのか、11月の活動時にじっくり観察したい。

後半は、高枝鋸を使って枝打ちを行いました。高い所の枝を伐採するという初めての体験
に、企業の皆さんは楽しい作業となったようでした。
猛暑の中、皆さん、本当にお疲れ様でした。

参加者:企業の皆さん 4名、会員 8名 計 12名

■今後の活動について

【例会】 日時:9月14日(日)10:00

場所:作業小屋

内容:白石スキー場の植生観察(草地)

【例会】 日時:9月28日(日)10:00

場所:作業小屋

内容:全観察路を歩き問題点をチェック、大木に名前を付ける

【例会】 日時:10月12日(日)10:00

場所:作業小屋

内容:小鳥の森の不条枝切り、自然観察(樹木の果実等)、キノコ採り